

(一社)九州貸切バス適正化センター 令和2年度第1回諮問委員会 議事内容

日 時：令和2年6月23日(火)10:30～11:30

場 所：陸運会館6階小会議室

出席者：(適正化事業諮問委員)辰巳委員、中倉委員、古村委員、権藤委員
(適正化センター)原代表理事、阿部首席指導員、大迫指導員、坂元事務員

議事録

【諮問事項の審議】

：諮問1の「令和1年度適正化業務に係る事業報告について」事務局から説明があり、質問・意見を求めたところ委員から次の意見があった。

B委員：速報の対象となっている事項について発覚した場合は即運輸局へ報告するということか。

事務局：局もすぐに監査に入ってもらおう。運行管理者が不在とか、運転士に健康診断を受けさせていなかった事案もあった。それはもう監査に入ってもらった。

B委員：負担金について督促を2回も出しても納付しない事業者の理由は。

事務局：経営者の入院の為に手が回らなかった為であったり、適正化センターの業務についての理解を得られていない為であった。最終的には全事業者に納付いただけた。

以上の議論があり諮問1について満場一致で可決した。

：諮問2の「令和1年度適正化業務に係る収支決算について」事務局から説明があり、質問・意見を求めたところ委員から次の意見があった。

A委員：令和1年度のセンターの決算にはあまりコロナの影響はないと思うが、3月は影響を受けていると思う。それがどの様にどの程度あったのか教えてほしい。

事務局：3月1ヶ月だけの数字を出すと、100万円程度経費の減少があった。(巡回指導中止の影響で)ナスバに要請して指導の応援を受けている分が減少した。あと旅費交通費が25万円程度減少した。あとはレンタカー、燃料費で30～40万円減少した。

以上の議論があり諮問2について満場一致で可決した。

: 諮問3の「令和2年度事業計画・収支予算及び資金計画の変更について」事務局から説明があり、質問・意見を求めたところ委員から次の意見があった。

C委員 : 相当数の減車、事業廃止が出ており、インバウンド需要の回復が見込めず、学校行事の中止も相次いでいるなど相当厳しい話が入っている。資料の通り4月5月は巡回に行けず、以降の巡回計画数も厳しいのではないかと。

事務局 : 6月も20ヶ所と書いているが、北九州での感染者数の増加があり、すでに6ヶ所は行けなくなっている。今のところの計画数である。

B委員 : 基本的には現有勢力2名増員で賄うということか。実際に巡回はできているか。

事務局 : 先週から行っている。実際には事業活動が行えていないところが多く、今の現状のコロナ対策等のヒアリングや、以前運行していた時期の帳票を見て、今後の見通し等の話を聞かせて貰いながら現状把握をして行きたい。

C委員 : 先々週、貸切バスの運行についての感染予防対策のガイドラインが日本バス協会から出ていたが、巡回指導においてその実施のチェックは行うのか。

事務局 : チェック事項には入っていないが、どういう対応をするのかや、ガイドラインの内容を確認しているか等ヒアリングしている。

C委員 : 旅行業協会の業者の皆様から、ガイドラインを守っているバスを使わないといけいないのだが、どうやって見極めたら良いのかという質問があるが、その都度確認するしか無いのではと答えているが、ここは〇の事業者であるとか可視化されると非常に便利だと考える。

事務局 : 貸切バスとして営業を行う際は、こういう風に消毒しているであるとか、ガイドラインをきちんと守っている等、逆にバス会社の方から安全ですよという事を打ち出して、やって下さいという話はさせて貰っているところである。

D委員 : 先週県を跨いだ移動が解禁されるという形で、7月から九州7県を回るという計画だが、現状6月は20件で北九州を除いて14件しか回れないという報告であった中で、7月は回れる見込みはどうか。

事務局 : 何とかやっていきたいと考えている。7月の巡回通知も出ている。

A委員 : 廃業が今後増えていく可能性があるという話だが、実際には10%の上乗せ(リスク経費)を貰っているので、多分それで吸収出来るものと思っている。しかし、万一想定より少し多めに廃止が出てリスク経費を越える場合はどうするのか。

事務局 : 想定以上にお金が残らなかった場合、今後どうするのか(10%→15%にする等)考えたい

以上の議論があり諮問3について満場一致で可決した。

: 諮問4の「令和2年度負担金の額及び徴収方法の変更について」事務局から説明があり、質問・意見を求めたところ委員から次の意見があった。

A委員 : 今回減額になっているのは、人件費の部分と巡回の回数が減ったということで支出が減ったと思うが、10%のリスク経費の取扱いについてはどの様になっているのか。

事務局 : 減った経費に10%を乗せて残している。

以上の議論があり諮問4について満場一致で可決した。

A委員 : 諮問事項の、全ての審議が終わり、諮問委員会の終了を宣言した。